

分 か る と 快 感 !

Z会ナビ

算数

▶理科

歴史

地理

お題

リサイクルについて

考えてみよう

(大学入試センター試験 2014年 理科総合A 本試験)

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

環境問題はとても大きな問題ですが、実は、簡単にできる対応策もたくさんあります。リサイクルは、その中でも最も身近なものの一つです。

リサイクルのための分離や分別に関する記述として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 飲料ガラスびんは、色ごとに分別することで、同色の飲料ガラスびんへのリサイクルが可能となる。
- ② 可燃ごみから分別される生ごみは、たい肥の原料として利用することができる。
- ③ 分別した古紙は、再生紙などへのリサイクルに利用できる。
- ④ 分別した発泡ポリスチレン(発泡スチロール)は、ペットボトルにリサイクルすることができる。
- ⑤ 使用済みの携帯電話は、有機物などを除くことで、レアメタルなどの有用資源を回収することができる。



イラスト：瑞木匠

資源を無駄にしない

には、「製品の再資源化」のことです。たとえばペットボトルは、リサイクルによって、卵のパックや合成繊維に生まれ変わります。また、いわゆるリサイクルショップは、厳密には「リサイクル」ではなく、「リユース」にあたります。

リサイクルの前と後に気をつける

さて、①～⑤の中で正しいのは、①、②、③、⑤です。①のガラスびんは、色別に回収するこ

とで、新しいガラスびんを作る原料にしたり、洗って繰り返し使ったり(リユース)します。②は、コンポスト容器を利用すれば、家庭でもできます。③は、古紙を再生紙の原料に利用、⑤は、回収したレアメタル(金属)を新しい携帯電話などに利用する方法です。④は少し難しいですが、発泡スチロールはポリスチレン、ペットボトルはポリエチレンテレフタレート(略称PET)という、互いに異なる物質でできています。物質を変えるには、たくさんのエネルギーが必要なため、通常、このようリサイクルはしません。

なお、⑤のレアメタルについては、都市部で効率的に回収できることから、廃棄された工業製品を鉱山に見立てた「都市鉱山」という言葉も生まれています。

【Z会・菅亮一】

関連のインターネットサイト

- 大学入試センター <http://www.dnc.ac.jp/>
- 3R政策/経済産業省 <http://www.meti.go.jp/policy/recycle/>
- リサイクルナビ <http://www.matec-inc.co.jp/rnavi/>

! 今回の教訓

分ければ資源、混ぜればごみ



菅亮一さん 1996年Z会入社。大学受験用の理科(ときどき小論文)の教材編集を担当。趣味は献血、野球、ジョギング、ドライブ。妻と小6の娘の3人家族。1971年、岡山県玉野市生まれ。

リデュース・リユース・リサイクル

資源の無駄を防ぐには、大きく三つの方法があります。リサイクル(Recycle。再資源化)はその一つで、残りの二つは、リデュース(Reduce。<ごみの>減量)とリユース(Reuse。再使用)です。これら三つは、その頭文字をとって、3Rとよばれます。リサイクルは、「資源の有効活用」や「資源の再利用」の意味で使われることが多いですが、厳密